



2025年1月27日
東日本旅客鉄道株式会社

東海道本線大船・藤沢間村岡新駅（仮称）で ZEB 認証を取得しました ～駅舎において国内初の取得～

- JR 東日本は、神奈川県、藤沢市及び鎌倉市と協力し、東海道本線大船・藤沢間にて村岡新駅（仮称）設置に伴う工事等を推進しています。
- このたび、JR 東日本は村岡新駅（仮称）において 2024 年 12 月 13 日付で ZEB Ready 認証を取得しました。なお、駅舎での ZEB カテゴリー取得は国内初^{※1}となります。

1. ZEB（Zero Energy Building）^{※2} カテゴリー取得の背景・狙い

JR 東日本グループでは、グループ経営ビジョン「変革 2027」において「ESG 経営の実践」を経営の柱として掲げ、また環境長期目標「ゼロカーボンチャレンジ 2050」を策定し、2050 年度の CO₂ 排出量「実質ゼロ」に挑戦しています。こうした取り組みの一環として、このたび、村岡新駅（仮称）^{※3}において ZEB Ready 認証を取得しました。今回国内で初めての「駅舎」での ZEB カテゴリー取得となります。

※1：（一社）住宅性能評価・表示協会 HP を参照（2024/12/13 時点）

※2：ZEB とは、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物であり、ZEB/Nearly ZEB/ZEB Ready/ZEB Oriented と 4 段階の ZEB を定性的および定量的に定義したものです。

※3：2024 年 5 月 20 日発表「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称) 設置に伴う工事等の施行に関する協定の締結について」
https://www.jreast.co.jp/press/2024/yokohama/20240520_y01.pdf

2. 村岡新駅（仮称）における省エネルギー化の取り組み

村岡新駅（仮称）においては、藤沢市の定める「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」にも合わせ、LED 照明や床断熱を採用するとともに、自然換気や自然採光を取り入れ、空調等負荷の低減を図ることで省エネルギー化を実現します。これにより、地域の玄関口となる駅において、低炭素や循環型社会等の環境負荷低減等、エコロジカルな環境づくりに貢献します。



村岡新駅（仮称）の完成イメージ



ZEB Ready 認証ラベル